

第1回保育士ワークショップ 開催報告

（出席者） 保育士：17名
事務 局：4名（総合戦略室）
オブザーバー：1名（山田こども課長）
ファシリテーター：1名（ジャパン総研）

1 次第

- 18：00 開会あいさつ、趣旨説明
18：15 グループワーク
美濃加茂市の保育現場における「現状・課題」とは
「子どもの育ち」「保護者への支援」「職場環境（ソフト）」「職場環境（ハード）」
の4つの分野に分け、保育現場の現状・課題について自由に意見交換する。
19：30 各グループの成果発表
19：50 閉会あいさつ、事務連絡

2 開催結果

（1）グループワークの発表

【Aグループ】

一番多く出た意見が『子どもの育ち』と『職場環境（ソフト）』の2つの分野だった。

子どもの育ちについて

「自由遊びの不足」があげられる。私たちが行事に追われたり、やらないといけないことが多すぎたりすることで、子どもたちが屋外で遊ぶ時間が不足しており、発散できていないのではないか、という意見があった。

「外国籍の子の保育」では、なかなか言葉が通じない、言いたい事がなかなかその場で伝わらないという経験をした先生がたくさんいた。外国籍の保護者への対応も難しく、訳した手紙を渡しても読んでももらえず、行事の連絡などが伝わらないことがある。

「発達の気になる子」では、良い点として一人ひとりに配慮がなされているという意見があった。月1回、「カナリアの家」から支援に来てもらい、対象となる子どもに合った保育や対応の仕方を勉強させてもらっている。加配対象として入園してくる子もいるが、対象となっていないものの手がかかる子どもが何人もおり、最初の保育士の人数だけでは足りないという意見があった。

職場環境（ソフト）について

保育士が足りないために、休憩時間の確保が難しいことや、休みがなかなかとれないという意見が





あった。そこでパートの勤務体系について意見が出たが、週4日勤務で1日休みというかたちで働くパートの方もいるが、週1日でも休まれると現場は厳しいという意見が出ている。勤務の終了時間が午後3時半までや3時45分までなど、パートの方によって様々である。しかし、4時前後はお迎えなどで非常に忙しい時間帯で、一人では対応しきれない状況があり、困っているという意見があった。

「少人数」という区分での意見は、現在1クラスのところが多い。子どもの人数が多いから保育士を増やせばよいという問題ではなく、ごちゃごちゃして落ち着かないこともある。少人数保育であれば子ども達も落ち着いていくのではないか。そのためにはクラスを増やしたりしてはどうか、という意見があった。

「職員が足りない」という問題にもつながるが、なぜ足りていないかは「給料が安い」ということが背景にあるという意見がある。給料を上げてもらえると職員も応募がたくさん来るのではないだろうか。

「事務仕事」の面では、保育士に一人一台パソコンがない状況なので、作業したい時に使えず困るという意見があった。そのような中でも、パソコンが必要な書類仕事が多い。

「保育時間の変化」では、短時間保育は4時半にお迎えが来る。今まではもう少し早くお迎えが来ていた子も、4時半に来ないといけないう状況であり、4時半ギリギリにお迎えに来る。その時間帯が一番多くなっている。今までよりも長くいる子どもが増えた感じがする。その時間が忙しいという意見があった。

保護者への支援について

保護者については、「過保護」ということがあげられた。保護者の方から重い悩みが連絡ノートにたくさん書かれて、その対応が大変だという先生がいる一方で、保育園に任せっきりで、何でも保育園でやってもらうことが当たり前と考えている親も多く、両極端である。なかなか手紙を読んでももらえず、伝えたい事が伝わらなかったり、手紙を出してもさらに声掛けをしないといけなかったりすることもある。

職場環境（ハード）について

「保育施設」の面では老朽化が目立っており、シロアリが出ることや、遊具の安全面、雨降り時の施設状況が雨漏りなどで悪すぎるという意見があった。部屋もパーティションで仕切っただけで、隣の声が聞こえてしまい、活動しにくい面があり、また、部屋が狭くて子ども達が思うように遊べないという意見が出ている。

【Bグループ】

BグループもAグループと同じように『子どもの育ち』と『職場環境（ソフト）』について一番意見が出た。

子どもの育ちについて

気になる子が多い、という意見がたくさん出ている。発達が気になるグレーゾーンの子も多く、普通の子の中でも反応が薄い、無表情な子が多い、食事の面で偏食が多い、キレやすい、あいさつがで



きないなど、いろいろと気になるところが多い子どもが増えてきたと感じる。

外国籍の子どももすごく増えてきており、言葉の壁や習慣の違いで話が通じないことがある。また、家庭環境も異なるため日本とは違うしつけの仕方をされていることから、対応が大変である。

また、「ゆっくりと遊ぶ時間が少ない」という意見もあった。昔と比べて、じっくりと子どもと関わる時間が持てず、子ども

も達もゆったりのびのびと遊んでいる時間がなく、バタバタと毎日が過ぎているのではないかということを感じた。

保護者への支援について

『保護者への支援』については先ほどもAグループの発表に出ていたが、手紙を読まなかったり、忘れ物が多かったり、提出期限を守れなかったりする保護者が多く、保護者一人ひとりの意識が低くなっているのではないかということを感じた。

「育て方・関わり方がわからない」という意見も多かった。子どもをどうコントロールしていいかわからない人が多い。そこにも外国籍の方が関わっていることがある。子どもを育てる方法が伝わらなかったり、伝えられなかったりすることもあると感じている。また、長時間の保育、特に未満児保育が増えてきている。保護者の仕事が忙しいことや、女性が社会に出て働くという今の時代背景があると思うが、子育てよりも仕事を優先させたいという親が出てきているのではないかという意見も出た。

子どもが少し危ないことに興味を持って、危ないからといって最初からやらせないことがある。自然の中で遊ばせるにしても、木のぼりは危ないと事前に止めてしまい、子どもがのびのびと遊べる時代ではなくなってきたということが問題にあがっていた。

職場環境（ソフト）について

私達が一番気になっていたこと、訴えたい事は、時間がないということである。書類が多い、事務仕事が多い、日々の保育に追われて事務仕事ができないという現実がある。行事・研修、土日の行事が多く、地域行事への参加が多いという意見があった。時間がない中で、休憩時間やフレックスが取れず時間に追われている状況である。

すべてに関わることとして、大きくは「正規職員の保育士が足りない」ということにつながる。パートや補助員の先生が多く、そちらの休みが多いので自分が休めない、職員の数が足りないことで園がまわっていかない。保育士が足りないことにすべての原因があるのではないかという意見が出た。

職場環境（ハード）について

環境面では、施設の老朽化、使いづらい、通気性が悪い、机・椅子が重いなどの意見があげられた。

また、「地域性」もあり、子どもの雰囲気や人数が違うため、それによっても違ってくる。いずれにしても、保育士の数が足りないということが問題だということであった。



【Cグループ】



子どもの育ち・保護者への支援について

一番元となるのが「保護者の育児能力の低下」である。保護者がどうやって子どもに関わっていったらいいのかわからない、どうやって子どもを育てていいのかわからない、ということが増えている。そのような保護者の状況が子どもの育ちにつながるが、子どもの心の発達が年齢の成長に追い付いていない。オムツが取れないままの3歳児が保育園に入ったり、夜遅くまで起きているので保育園に来て眠そうだった

り、気分がのらないような子がいたり、手先が上手く使えない、階段の昇降が上手くできないなど、心身の発達の遅れから、個人的な支援を必要とする子が増えてきている現状がある。その他に、外国籍の方が増えており、生活習慣の違いからコミュニケーションがうまくとれないことや、お金や必要書類をなかなか出してもらえない、という問題がある。

職場環境（ソフト）・職場環境（ハード）について

「施設の老朽化」という問題があり、雨漏りやシロアリの発生が出ている園がある。雨漏りにより水びたしになったものを、高いところから下ろして一つ一つ広げて乾かさなければならず、ホールの高い屋根に上って屋根や樋の掃除をしないとイケない園もある。

また、0～2歳児の小さい子の入園が増えているが、それに対応できる設備がない。子どもの避難車を購入したが、置く場所がなくて困っている。子どもには対応しなくてはイケないし、保護者の支援もしなくてはイケない。施設の老朽化にも対応していかなくてはイケないが、保育士の数が足りない。特に正職の保育士がいないことが問題で、パートは多いが、パートには休憩時間をしっかり取ってもらうようにしている。嘱託にも休憩をとってもらうようにしており、そうすると正職の休憩が後回しになっているのが現状である。

保護者からのクレームは正職が受け、ストレスが溜まる一方である。仕事量も軽減されているように会議で言っているが、なかなか減っていないのが現状である。



(2) グループワークの結果

【Aグループ】



子どもの育ち

・一人ひとりに合った保育がされている

◎自由遊び不足！

・ 戸外遊びの時間確保が難しい ・ 自然の中でもっと遊ばせてあげたい。行事も経験させたいが・・・

◎外国籍の子の保育

・ 言葉が通じない。外国籍の子に伝わらない
・ 外国籍の子が多く、子どもも保護者も対応が難しい。行事等伝わらない

◎発達の気になる子

・ 発達の気になる子が多い
・ 気になる子が多い。加配対象でないけど援助が必要な子が多いので、保育士の人数が足りない

◎少人数

・ 1クラスの人数を少なくできるといいな ・ 少人数保育の重要性
・ 1クラスの子どもの人数が多い。子どもが多ければ保育士を増やせばいい訳じゃない！

保護者への支援

◎過保護

・ 保護者の方の毎日の帳面。悩みや生活の様子などの相談に毎日対応するのはえらい。重い。

◎放任

・ 保育園に任せっきりの人が増えている ・ 手紙をしっかりと読まない親が多い

職場環境 (ソフト)

◎職員が足りない・勤務形態

・ 休憩時間の確保が難しい ・ 短時間でも職員が足りなくなる事。困る
・ 職員の数に余裕がない ・ 職員が少ない
・ 職員の数が足りない、時間帯によってとっても困る ・ 土曜勤務専門の先生がほしい
・ 人が足りないと、パートさんに時間どおりに帰ってもらえない
・ 保育時間が増えたのに、職員数の増加が見合っていない
・ 週4勤務のパートさんが多い。毎日誰か休むと、自分たちの休みが取れない

◎給料が安い!!!

・ 給料を上げないと保育士が増えない！ ・ 給料UPを!!!
・ 給料が少ないから募集をかけても集まらないんだ！ ・ 給料が少ないよー!!
・ 給料を上げてほしい。国家資格なのに！

◎保育時間の変化

・ 保育時間が延びた事で帰りを待つ時間が延びる。大変ー!!

◎事務仕事

・ パソコン事務が増えたのに、パソコンが使えない ・ 書類仕事が多い

職場環境 (ハード)

◎保育施設

・ 雨、雪の日の施設状況が悪すぎる ・ 施設の老朽化 (シロアリなど)
・ 部屋が狭い ・ 隣の音がまる聞こえ

◎遊具

・ 園庭の遊具の安全面

【Bグループ】

子どもの育ち

- ・返事、挨拶ができない
- ・食事の面、偏食が多い
- ・反応が薄い子
- ・ゆっくりと遊ぶ時間が少なくなってきた気がする
- ・落ち着かない。かんしゃくを起こす
- ・すぐに手が出るなどキレやすい子が多い
- ・無表情の子が多い
- ・じっくり子どもと関わる時間がもてない

◎気になることが多い

- ・気になる子が大勢いる
- ・子どもの運動能力の低下
- ・近年発達気になる子が増えている
- ・気になる子が増えてきた
- ・グレーの子が多い
- ・発達が遅い子が多い

◎外国籍

- ・外国人の子が途中で入園し、言葉や習慣の問題がある
- ・外国籍の子どもが多くて、言葉や細かい指導が通じない（落ち着かない）

保護者への支援

◎意識が薄い

- ・手紙を読まない保護者が多い
- ・忘れ物提出期限の守れない保護者
- ・手紙を読まない

◎育て方・関わり方がわからない

- ・言葉が通じない外国籍の保護者への連絡が難しい
- ・外国人の親への伝達が難しい
- ・子どもの関わり方がわからない親が増えてきた
- ・事細かに説明しないと理解できない保護者がいる
- ・子育てに自信のない保護者が多い。子どものしつけや習慣ができていないことが気になる

◎子育てより仕事！

- ・長時間保育の子どもが増えてきた（特に小さい子）
- ・長時間保育未満児が増えてきた

◎今の時代？

- ・「危ないから」を優先し過ぎて、子どもに経験させたい事が制限されてしまう

職場環境（ソフト）

- ・新しい制度になり、保育時間の違う子への対応、チェックが大変である

◎◀時間がない！！▶書類が多い

- ・事務仕事の書類が多い
- ・保育事務の時間がない
- ・日々の保育に余裕がなく、事務作業がたまりがちである
- ・時間外の事務仕事などが多い

◎◀時間がない！！▶行事・研修（土日）が多い

- ・行事などが多く、やることが増えた
- ・地域の行事に参加するのが大変！
- ・やること、求められることが多く、高度になってきているような気がする
- ・園の行事や製作なども多く、季節を活かした活動がゆっくりできない
- ・土日の仕事、研修が多い

◎◀時間がない！！▶休憩・フレックス

- ・ゆっくり休憩できる時間がない
- ・日々時間に追われて生活している

◎正規保育士が足りない！

- ・パートや補助員の先生が多く、休みが多いので、保育士が足りない状況である
- ・嘱託・パートの職員が多い
- ・職員（正規）が少ないことで連絡がとりにくいことや、子どもへの対応も大変
- ・嘱託・パートの先生などがたくさんみえると勤務時間も限られて、話し合いの場が持てない
- ・パートなど勤務時間の短い保育士が多いので、伝達事項などどうしても伝わりにくいことがある
- ・職員の数がギリギリで、休みの職員の人数により園がまわっていない
- ・保育士の人数不足。支援の必要な子を十分に支援してあげられていない

職場環境（ハード）

◎使いづらい！！

- ・保育室の出入口が一つしかない
- ・保育室の風通しが悪い
- ・保育室の机や壊れやすい椅子が重くて使いにくい
- ・トイレ、手洗いなど子どもの動きに園舎の造りが合っていない
- ・一部屋の人数（子ども）が多すぎて危険な時がある
- ・加配の先生。知識のない先生だと、適切な支援ができない



◎地域性

- ・地域によって（園によって）子どもの雰囲気や子どもの数が違う

◎施設が老朽化

- ・未満児が増え、保育室が狭い
- ・施設が老朽化で雨漏り、ひび割れ
- ・施設が老朽化でトイレなども古い。ホールも狭い

【Cグループ】

子どもの育ち

◎支援が必要な子の増加

- ・発達に偏りがある。発達に偏りや特長のある子が多く、個別支援が必要
- ・個人的に支援を必要とする子が増え、他の子への関わりが十分取れない。支援の必要な子が多くなった

◎心と体の発達の遅れ

- ・手のかかる子ども、オムツの子の増加（子どもの発達に関して）気になる子多い
- ・基本的な生活習慣が3歳までに身につけていない子が多い（家庭の育児能力の低下）
- ・ものがあふれていて、自分から見つけて遊ぶことができない
- ・年齢なりの育ちができていない
- ・生活習慣の自立が遅い（排泄）
- ・意欲がない
- ・自分で考えて行動できない
- ・たくましさ（生きる力）に欠ける
- ・心の成長が遅い
- ・子ども同士の関わり方が下手
- ・手先、体が上手く使えない子が多い
- ・体力がない
- ・姿勢が悪い
- ・子ども達の運動能力の低下が目立つ
- ・常に動き落ち着きがない
- ・親の影響により（子育ての考え方）育ちが様々

保護者への支援

- ・親の行事への期待の大きさが、子どもへの負担となることもある

◎育児能力の低下

- ・育児に関してわからない親
- ・子育てがわからない親が多い
- ・子どもとどう関わったらよいかわからない保護者が多くいる
- ・年少で入園してくる子でオムツをしている子が多いなど、家庭でのトレーニングができていない
- ・親に寄り添わなくては行けないが、知らせることも必要。親育てが課題

◎親になれない親

- ・お便りを読まない
- ・保護者役員のなり手がいない
- ・子育てに余裕がない
- ・生活時間が大人の都合で、子どもが大人に合わせられていること
- ・18時30分を過ぎて迎えに来る保護者に600円をもらいづらい
- ・発達障害っぽい親の増加。文章の解読、話が通じない。トンチンカン
- ・本当に子どものためになる保護者支援ができていないか。一時預かり

◎貧困、外国籍児の増加

- ・外国籍の保護者とのコミュニケーション
- ・必要なお金を払ってもらえない（特に外国籍の人）

職場環境（ソフト）

- ・同じ思い（保育士としての生きがい）が人それぞれで、一つの目標に向かって進めない

◎保育士不足!! 正規がすくない

- ・保育士の数が足りない
- ・保育士になる人がいない
- ・パートが多いため、休みが取れない
- ・パート職員らの休憩は取れるが、正規職員は充分取れない
- ・正規が足りない
- ・正、嘱が少ないため、当番がすぐにまわる
- ・年休が取れない

◎仕事量が多い

- ・保育士同士話し合いをする時間が足りない
- ・小学校、中学校との連携不足
- ・書類、お便りなど家に持ち帰らないとできない
- ・園長の事務屋がほしい（伝票切りなど）
- ・家へ持って帰ってやる仕事がある
- ・保育時間が長い。土曜日も7時30分～18時30分
- ・事務仕事は軽減したはずが多い（係目標を数字で表すなど。パソコンの台数に限界）
- ・定時で帰る職員がほとんどいない（このような雰囲気から本心は帰りたくても帰れない?）
- ・保育士は家庭を犠牲にしても早朝から遅くまで働きすぎ
- ・もっとじっくり遊ばせたいが、行事に追われてゆとりがない
- ・子どもともっと自然にふれ合ったり、ゆっくり遊びたい。毎日時間に追われている
- ・園内研修の時間が持てない
- ・定時（17時15分）になかなか帰れない
- ・仕事が時間内に終わらない
- ・事務仕事が多い
- ・土日出勤多い
- ・地域行事への参加が多い

◎心や体の不調

- ・保護者のクレーム対応による保育士のストレス
- ・保育士の人間関係が難しい
- ・腰痛
- ・腰痛
- ・LINEやメールの活用（情報が早くまわる）が、時にはストレスになることもある

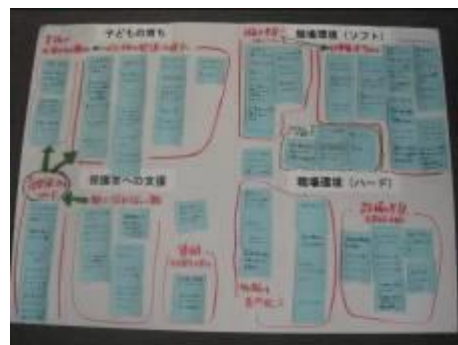
職場環境（ハード）

◎施設の老朽化

- ・園舎が子どもの人数に比べ狭い
- ・駐車場が狭く、行事のたびに苦慮する
- ・雨が降るとテラス雨漏り
- ・シロアリが発生!
- ・保育室が狭い。人数が多いのに対応できていない
- ・施設の老朽化
- ・雨が降ると廊下がびしょ濡れ。歩けない

◎設備不足・未満児対応

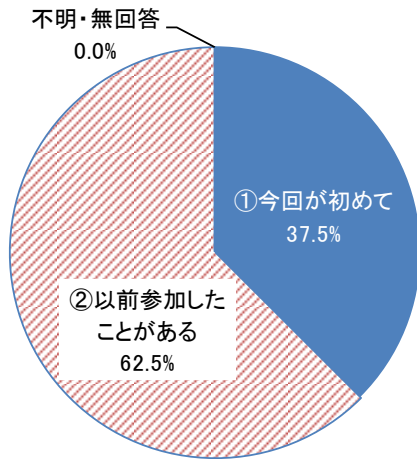
- ・今の子どもの発達に合っていない所が多い（トイレ、ロッカー、出入口）
- ・低年齢児が多くなってきたが、それに対応できる施設になっていない
- ・未満児保育希望者の増加
- ・様々な年齢の子どもの対応できる施設がない
- ・園外保育に行く場所がない
- ・園外保育でバス使用が大変
- ・0、1歳児の増加による対応
(例：避難車を買っても置き場がない。
職員の動線。声の大きさなど)



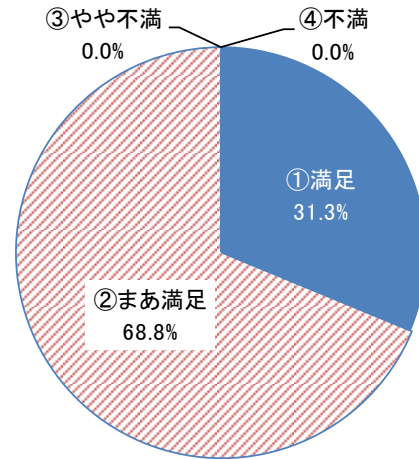
3 参加者の意見・感想

振り返りシートの提出数：16名

【ワークショップの参加経験はありますか】



【本日のワークショップはいかがでしたか】



【本日のワークショップについての具体的な感想など】

- ・いつも言っているグチ、不満がやっと解消につながっていくのかな、と期待しています
- ・いろいろな先生と保育について話げできました。思いを共感してもらえました
- ・いろいろな意見（園によってや経験年数の違いから）を聞けて勉強になりました。共感できることが多かったです
- ・自らの職場環境についての内容だったので、意見が多数あったものの同じ意見が多くあり、確認ができました
- ・自分の思いだけでなく、いろんな方の意見・話を聞くことができた
- ・自分たちの仕事の課題について考える機会となりました
- ・普段感じている本音を伝えたり、他の方の考えを聞き、皆同じように苦労しているんだということがわかりました
- ・項目に分けて考えることができて良かった。グループの分け方（年代別）も話しやすかったと思います
- ・年代ごとの考えがわかったり、今の保育園が抱える問題が整理されてよかった
- ・いろいろな話が聞けたり、話し合ったりでき、同じ考えも多く共感できました
- ・日頃感じていることなどが、思いのままに出すことができ、また同じような意見も出され、良い時間が持てたと思います
- ・いろいろな先生の思い・意見が聞けました
- ・いろんな思いを出し合うことができました。共感できました。日頃感じていることを言うことができ、スッキリしました
- ・皆同じような思い・課題を持っていると思いました
- ・課題についてみんなと共有できました

【本日のテーマについて、言い足りなかったことや、追加意見】

- もっとたくさんの方の意見があるといいと思いました
- 苦情に対してとても慎重、敏感になり過ぎているのではないかと感じることもあります
- 言いつばなしにならないで、解決できる一歩となればと思います
- 保育士の心意気の低下
- フロム0歳プランなど、保育で終わるのではなく、後々小学校、中学校～大人まで長期にわたる流れがしっかりできるといいと思います
- 次回以降、建設的な意見が出て、現状を打開できるとよい

【総合戦略全般について】

- 未来の美濃加茂市を背負う子ども達のために、何をすべきかを考える大切な課題だと思うので、よく考え、結論が出せるようにしていただきたいです
- いい機会をつくっていただき、ありがとうございます
- これからも市のために力になってほしいと思います
- 保育士のみではなく、保育園を利用する保護者のワークショップが行われてもよいかも
- 今回出た意見は、今日参加していない保育士も感じている切実な課題であると思うため、必ず今後活かしてほしいです
- 今日出た意見が、今後の話し合いなどから出た問題点など、今後改善していけることを願っています
- 話し合いで出された意見から、今後の改善につながってほしいと思います
- 今日話した内容について検討を深め、美濃加茂市の保育がよりよいものになるようにしていきたい
- 今出ている課題が良い方向に向かうように、現場の声を聞いてもらい、改善してほしい

